

<レジャー> 恋人の聖地・夕日に染まる堂ヶ島 <堂ヶ島> 【西伊豆町】

伊豆新聞 12月8日(月)9時48分配信

ツイート 2

シェア 0



堂ヶ島の夕日

恋人たちの聖地にふさわしい観光エリアを、全国から100カ所選びだすNPO法人地域活性化支援センター主催の「恋人の聖地プロジェクト」に2007（平成19）年、全国で45カ所目選ばれた西伊豆町堂ヶ島。「伊豆の松島」とも称される景勝地で、夕日に赤く染まるその風景は息をのむほど。

堂ヶ島には、源平時代の三四郎と小雪の悲恋伝説が残る三四郎島や、1935（昭和10）年に歌人・与謝野晶子、鉄幹夫妻が最後に旅した天然記念物「天窓洞」も観光名所となっていて、晶子の「堂ヶ島 天窓洞の 天窓を 光りてくださる 春の雨かな」と詠んだ記念の歌碑が建てられている。

日本一の夕陽（ゆうひ）の町を宣言した西伊豆町には、堂ヶ島のみならず、奇岩を染める大田子海岸の夕日や、断崖絶壁の露天風呂から望む夕日、通称馬ロックと呼ばれ富士山を望む黄金崎など、人気の撮影スポットが点在し、大海原をオレンジ色に染め上げる美しい景色が、人々を魅了している。

西伊豆町の北側に隣接する伊豆市土肥には恋人岬、南側の松崎町にはドラマ「世界の中心で、愛を叫ぶ」（2004年）ロケ地があり、年月がたった今も訪れる人が絶えない。土肥－堂ヶ島－松崎は、3点を結ぶ「ラバーズ（恋人）ロード」としても人気。

恋人同士、大切な人と一緒に見たい雄大な景色が、西伊豆町にはあふれている。（T）